

2022 秋葉区版

ともに

P2 特別養護老人ホーム

藤花・荻川紹介

荻川ほのぼの保育園紹介

P3 特別養護老人ホーム

藤花・小阿賀紹介

小阿賀ほのぼのこども園紹介

P4 特別養護老人ホーム

藤花紹介

栄養士レシビ紹介

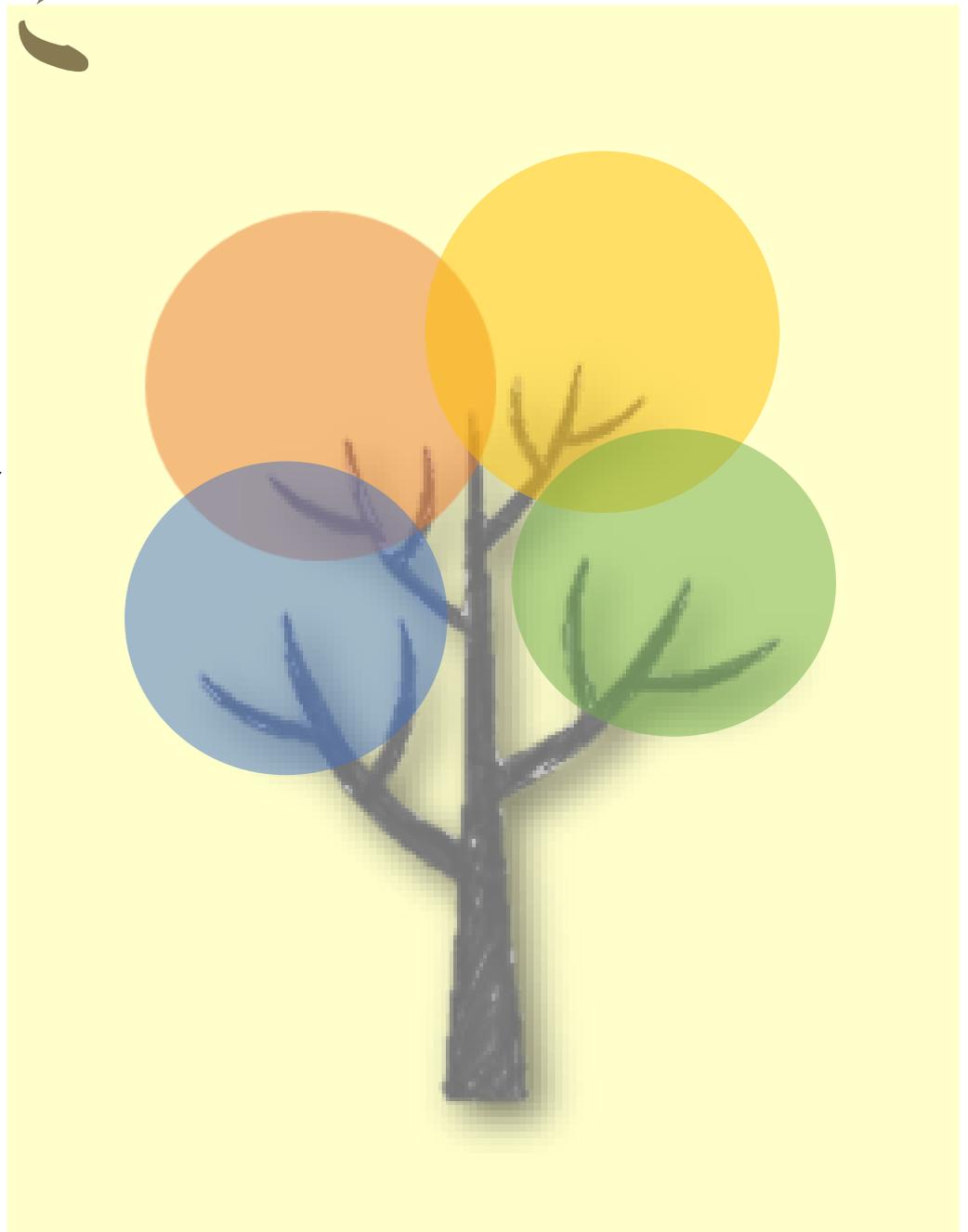
P5 作品紹介コーナー

P6 お知らせ

P7 社会福祉法人藤の木原福社会



社会福祉法人
藤の木原福社会



法人運営理念 「ともに」

私たちは、地域の様々なニーズに応え、全ての人がその人らしく、地域で安心して生活できるよう、ご利用者、ご家族、地域の方々、職員が共に支え合い、高め合います。

～施設紹介～

特別養護老人ホーム 藤花・荻川/荻川ほのぼの保育園

<特別養護老人ホーム藤花・荻川>

藤花・荻川は、同じ建物内で保育園と繋がっており例年であれば行事を一緒に行わせて頂く事も多く、入居者様と園児さんとの関わりがありますが、ここ数年はコロナの影響により直接関わる事が出来ていません。そのような現状でも入居者様には日々の生活を少しでも楽しんで頂きたいと思い、各ユニットで家庭菜園を始めました。入居者様と成長を観察しております。時にはアドバイスも頂きつつ、順調に成長しております。また、他にも春にはお花見に出かけたり、毎月喫茶店を開店し美味しいコーヒーと季節のお菓子を召し上がられております。お一人お一人に寄り添い、日々の支援に携わらせて頂いております。



<荻川ほのぼの保育園>

今年度から、荻川ほのぼの保育園ではカブトムシやクワガタ、カナヘビなどの飼育を始めました。子どもたちもそれぞれの生き物に興味津々です。

2歳児から5歳児までのそれぞれのクラスに虫かごがあり、園全体では約15匹の生き物たちがいますよ。カブトムシやクワガタムシは幼虫から飼育し、日々大きくなっていく様子をみんなで観察しました。虫かご越しに「色が変わってきた!」「もうすぐサナギだね」と観察する子どもたちの表情はとても生き生きとして輝いて見えましたよ。

こうした生き物たちと一緒に過ごしていく中で、“命の存在、命の大切さや尊さ”を知り、“生き物への興味・関心”を育てていけたらと考えております。成虫となった今では、クラスの子どもたちで、「カブちゃん〜!」「ご飯食べたかな?」と毎日観察をしたり触れ合ってみたりして関わりを楽しんでいますよ。



～施設紹介～

特別養護老人ホーム 藤花・小阿賀/小阿賀ほのぼのこども園

<特別養護老人ホーム藤花・小阿賀>

特別養護老人ホーム藤花・小阿賀は開設して3年目を迎えました。

入居者様のニーズを聞きながら日々の生活、暮らし方がご本人様のご希望に添えられるようにお話を聞きながら支援をさせて頂いています。ご入居者と一緒楽しめる様に年間計画し、行っています。特に食べる楽しみを大切に、調理レクや行事食、デザートバイキングなどを行いました。

今年も納涼祭では屋台やバザー、輪投げの出店を出し、入居者の皆様に夏気分を味わって頂きました。



<小阿賀ほのぼのこども園>



介護施設とこども園が建物内で繋がっており、入居者様と園児が触れ合うことができる複合施設です。入居者様との触れ合いの中で、優しさや思いやり、感謝の気持ちが芽生え、子どもたちの心の成長につながっていきます。

0～1歳児の保育室は、子どもたちの探求心や好奇心を大切にし、安全に伸び伸びと生活できる環境作りとなっています。2～5歳児の保育室は、棚で部屋が4つに仕切られており、各クラスを自由に行き来することができます。そうすることで自然と異年齢児間で交流する機会が増え、子どもたちがともに支え合い、高め合える関係が育つよう、環境作りからの支援を大切にしています。

また、年間を通して各月の行事に興味・関心が持てるようにしています。当園のクリスマス会では実際にサンタクロースが登場し、こどもたちにプレゼントを配ってくれます。目で見て、手で触れることで、子どもたちの想像は何倍にも膨らみます。こういった普段味わえない体験を通して、各行事に興味を持ち、楽しみながら覚えてもらえたらと思っています。



～施設紹介～

特別養護老人ホーム 藤花

<特別養護老人ホーム・藤花>

藤花では職員が運営する“藤花喫茶”が毎月開催されています。当初は季節のお菓子や飲み物を購入・提供をしていましたが、最近は手作りのお菓子を提供しております。

お団子やティラミス等、その季節に合いどの食形態の方でも召し上がれる物を作り、毎回好評を頂いているのですが、なかでも鈴木カステラやポップ焼きは大好評でした！形はいびつであったものの、作っている時の甘い香りが施設全体に漂い、皆様の食欲をかきたてているようでした。コーヒーもインスタントではなく、ドリップする事でよい香りが広がります。

又、喫茶のお菓子だけではなく、日頃の食事でも同じ事がありました。あるユニットで舞茸ご飯を作ったのですが、これもまた！フロア中に香ばしくよい香りが漂っていました。いつも箸が進まない方もこの時ばかりはお代わりをされていました。

施設では私達の日常にありふれている“調理の香り”を感じる事が少ないと感じます。ですが、ほんのひと工夫で香りを感じて頂き、食が進み毎日の生活に彩りを加える。これからも小さな工夫をしていきたいと思っております。



栄養士が教えるレシピ

豚バラとなすのおかか炒め材料(2人分)

豚バラ薄切り…80g

なす…2本

小ねぎ(又はにら)…2～3本

ごま油…大さじ1と1/2

【材料】

A しょうゆ …大さじ1

みりん…大さじ1/2

削り節…小1パック



【作り方】

- ① 豚肉は2cm幅に切る。なすはヘタを取り、縦半分に切ってから斜め5cm幅に切り、水にさっとさらして水気を切る。小ねぎは小口切りにする。
- ② フライパンにごま油を熱し、強火で豚肉を炒める。油が出てきたら、なすを加えてしんなりするまで炒める。小葱も加えて炒める
- ③ Aを加えて炒め合わせ、削り節を加えて炒める。

一言メモ

※嚙む力や飲み込む力が弱い方は挽肉に代えたり、なすの皮をむいて、ねぎを減らすなど工夫してください。



～ スイートパンプキン ～【材料:アルミカップ8個分】

【材料】

・かぼちゃ 350g(1/4個分)

(種とわた、皮を除いた重量)

・砂糖 45g

・サラダ油 20g

・牛乳 30g

一言メモ

かぼちゃの旬は夏ですが、収穫後に寝かせることで、糖度が増し、甘くなるので秋から冬にかけてが食べごろになります！



【作り方】

- ① かぼちゃは、やわらかくなるまで蒸し、熱いうちにつぶす。
- ② 1に砂糖と油、牛乳を加えよく混ぜる。かぼちゃの固さを見て、牛乳でのばす。
- ③ 生地をスプーンですくい、アルミカップに盛り付けて、黒ゴマを上のにせる。
- ④ 200度のオーブンで8分焼く。
- ⑤ 焼きあがってから、表面にケーキシロップを塗る。

～作品介绍～



<特別養護老人ホーム藤花>

藤花に入居されている方が作られた色とりどりの折り紙からなるくす玉です。このくす玉を作成された方はとても手先が器用で、ピンポン玉程の小さな折り鶴を作ったり、繊細で色鮮やかな塗り絵をされたりと、一つの作品としてとても素晴らしくきれいな物を日々作られています。職員が折り紙で動物を作ると「それはどうやって作るの?」と興味を持ち一緒に作ったりもしています。又、かぎ網で鍋敷きも作って下さったこともあります。これからも色々な作品と一緒に作っていきましょう♪



<荻川ほのぼの保育園>『わっしょい! おばけと森のおみこし』

年長組さんが、秋祭りで担ぐおみこしを作成しました。年長組で行っている意見交換の場で、おみこしのテーマを子どもたちで話し合い、春より取り組んでいる「自由制作」の経験を活かしながら、個性豊かなお化けを作り、土台の部分は共同制作を行いました。昨年度よりおみこしに憧れを抱いていた子どもたち。完成した『おばけと森のおみこし』から、充実感を味わった様子を感じられてきました。



<特別養護老人ホーム・荻川>

季節の作品を紹介させていただきます。こちらは余暇時間にトイレットペーパーの芯を利用し絵具を付けて花火をイメージして出来た作品です。スタンプの様に紙に押すと花火が打ち上がったかのように綺麗に写り想像以上でビックリ!!実際に数名の入居者様で作られた際には上手くできるとお互いに拍手をおくられている姿が印象的でした。まだまだ季節の作品がたくさんあり、完成が楽しみです☆



<小阿賀ほのぼのこども園>

小阿賀ほのぼのこども園のギャラリーをご紹介します。各クラスの子どもたちが、毎月季節に合った作品を制作し、こども園と介護施設が繋がる廊下に展示しています。ひと月ごとに作品が変わるので、保護者様はもちろん、施設の入居者様にも自由に見て楽しんで頂いております。子どもたちの可愛い作品が並び、毎日が展示会のように賑やかです!



<特別養護老人ホーム藤花・小阿賀>

毎日塗り絵をされているK様、三年前程から塗り絵をされているそうです。主に色鉛筆を使用し、歌舞伎や風景などの塗り絵がお好きだそうです。毎日午前・午後とユニットのリビングで塗り絵を楽しまれていらっしゃいます。既に塗り終えた塗り絵の本はなんと数十冊もあるそうです。

おしらせ



～KOAGA ぼぼちゃんず ～未就園児のつどい～



「こども園はどんなところ?」「うちの子と同じ年代のお友だちとの触れ合いや、お父さんお母さんとの情報交換がしたいな!」という方、小阿賀ほのほのこども園に遊びに来ませんか。

園に、詳細記載のパンフレットをご用意していますのでお気軽にお問合せください。

《対象》未就園のお子さんと保護者の方

《内容》月に1回、園内見学や行事見学と季節の制作・遊びなどを組み合わせて1時間くらいの活動です。

《申込》各回ごとに必要です。(先着4名)



～ボランティア募集!～



入居者の皆様の生活を支えるために地域の皆様のご協力を必要としています。芸能ボランティア、体操・華道・手芸等の様々な活動、掃除やシーツ交換等の身の回りのお世話等…ご興味のある方は是非ご連絡ください。また、保育園やこども園においても演奏会など、様々なボランティアを募集しております。宜しく願い致します。(行事・ボランティア委員会)



～地域交流スペースのご利用について～



『地域交流スペース』は地域の皆様へ開放し、クラブ活動、趣味の活動、発表の場、地域の集まりなど、地域の皆様の交流の場として自由にお使い頂けます。《藤花》《藤花・荻川》《藤花・小阿賀》それぞれに地域交流スペースがございますので、ご利用希望の方は各施設へお問い合わせ下さい。



～見学・ご相談 お気軽にどうぞ!～



特別養護老人ホームの入居相談やショートステイの利用相談、保育園やこども園の入園相談、施設見学等の他、ご自宅での介護や育児に関する悩みなど…各施設までお気軽にご相談ください。



～寄付のお願い～



ご家庭で不要となった〈タオル〉〈新聞紙〉はございませんでしょうか。掃除等で使用させて頂きたいと思います。

寄付して頂けるようでしたら、各施設へご連絡頂きたいと思いますので宜しくお願い致します。



ホームページ

<http://www.fujinokihara.com/>



Facebook

<https://www.facebook.com/fujinokihara/>



Instagram

<https://www.instagram.com/>



Twitter

<https://twitter.com/home>



YouTube



「～社会福祉法人藤の木原福社会～」

●特別養護老人ホーム藤花

〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町 1-11-12 TEL : 0250-21-2111 FAX : 0250-21-2114

Email : fujinokihara-touka@marble.ocn.ne.jp

●特別養護老人ホーム藤花・荻川

〒956-0013 新潟市秋葉区田島 109 TEL : 0250-24-2111 FAX : 0250-24-2114

Email : touka-ogikawa@soleil.ocn.ne.jp

●特別養護老人ホーム藤花・小阿賀

〒956-0011 新潟市秋葉区車場 1-389-1 TEL : 0250-21-1108 FAX : 0250-21-1109

Email : touka-koaga@soleil.ocn.ne.jp

●荻川ほのぼの保育園

〒956-0013 新潟市秋葉区田島 109 TEL : 0250-21-1111 FAX : 0250-21-1112

Email : ogikawa-honobono@soleil.ocn.ne.jp

●小阿賀ほのぼのこども園

〒956-0011 新潟市秋葉区車場 1-389-1 TEL : 0250-21-1123 FAX : 0250-21-1124

Email : koaga-honobono@soleil.ocn.ne.jp



社会福祉法人
藤の木原福祉会